

■織田信雄 武将。信長不肖の子で、父死去に後継を狙って失敗し、秀吉、家康とも確執あるも、豊臣家滅亡で落着した。

おだのぶお(のぶかつ)

・ ・ ・ ・ ・ 1558= 尾張国丹羽郡小折の生駒屋敷(母吉乃の実家)で、\_織田信長の次男に生まれる。

桶狭間の戦・1560= 2歳:

岐阜楽市楽座1567= 9歳:

織田信長入京1568=10歳:

京都宣教許可1569=11歳: \_伊勢国に領地を拡大しようと、父信長が、国司北畠具教の大河内城を攻め、北畠家乗っ取りを図って、具の子具房の養嗣子になることが和睦条件になって、その妹雪姫を娶る。

三方原の戦・1572=14歳: \_元服して北畠具豊と称し、

室町幕府滅亡1573=15歳:

長島一揆鎮圧1574=16歳: 従五位下侍従に叙任。

長篠の戦・ ・ 1575=17歳: 家督を相続、信意に改名。伊勢国司、左近衛権中将。津田一安の補佐のもと、家中の実権を掌握し始め、

安土城築城・1576=18歳: \_父の命で、岳父北畠具教を暗殺、義兄具房を幽閉し(三瀬の変)、

安土楽市楽座1577=19歳: 津田一安を肅清して、\_北畠家を乗っ取るが、

安土教会許可1579=21歳: \_父に無断で、伊賀国に侵攻して惨敗(天正伊賀の乱)、信長から叱責され、

石山合戦終・1580=22歳: 従四位下。伊勢田丸城が焼失したため、松ヶ島城を築いて居城とした後、

バリエアノ謁見 1581=23歳: 大和・伊勢の諸大名の加勢を受けて再度伊賀へ侵攻し、平定。この年の御馬揃えを見ると、織田一門の席次は、信忠、信雄、信包、信孝の順で、信孝とかなりの差があったと推測される。

本能寺の変・1582=24歳: \*\_父信長死去の報せ(本能寺の変)に、自ら後継になろうと、出陣するも、豊臣秀吉が明智光秀を討った(山崎の戦い)と知るや撤退し、明智軍が安土城を放棄したと知るや、入城すべく、残党炙り出しのため放火、全焼させてしまう。無能ぶりは広く知られていたようで、清洲会議で織田家の後継者になろうと、弟信孝とともに画策するものの相手にされず、豊臣秀吉が信忠の嫡男を擁して決着、その後見人とされ、尾張・伊賀・南伊勢100万石を配分された、清洲城主となるとともに、織田に復姓し、名を信雄と改名すると、柴田勝家との対立が激しくなった秀吉から、清洲の決定を反故にして、会議織田家当主に据えられ、

賤ヶ岳の戦・1583=25歳: \_柴田勝家が擁した弟信孝籠る岐阜城を攻めて降伏させ、自らの命で信孝を切腹させるが、秀吉に利用されただけであって、安土城に入るも、退去を命じられると、秀吉と対立、

長久手の戦・1584=26歳: \_秀吉との間を取り持っていた重臣3人を暗殺し、徳川家康と同盟を結んで、小牧・長久手の戦が勃発、緒戦で大勝利を収めるが、秀吉からの和議の申し込みを受け入れて戦線離脱して終戦、以後、秀吉に従って、

豊臣秀吉関白1585=27歳: 長島城が地震で大破し、清洲城を居城とする。\_かつての味方佐々成政を討つ越中征伐の総大将になり、

バレンツ追放令 1587=29歳: 九州征伐などにも従軍。九州征伐後は、権大納言、ついで正二位内大臣に累進。

秀吉全国統一1590=32歳: 秀吉の養女となった長女小姫と徳川秀忠が結婚。\*小田原の役では、北条氏康を説得する役も担って、開城させ、秀吉の天下統一実現に貢献し、関東に移封する家康の旧領三河・遠江・駿河・甲斐・信濃5カ国150万石への転封・加増されるも、旧領尾張・伊勢を望んで拒否、秀吉の怒りを買って、下野国烏山に配流される。出家して常真と号し、出羽の秋田、伊予と転々とした後、

文禄の役・ ・ 1592=34歳: 文禄の役の際に、家康のとりなしで赦され、御伽衆に加えられて、大和国内に1万8,000石を領し

方広寺大仏殿1593=35歳: 能の名手で、秀吉主宰の天覧能を観た近衛信尹に感心されている。\_以後、大坂天満の邸に居住するが、

ワッ島通交・1594=36歳:

関ヶ原の戦・1600=42歳: \_関ヶ原の戦いに、傍観的態度に終始して西軍に与したと判断されて、改易となり、領地は没収、戦後、豊臣家の家臣として仕えるうち、

阿国歌舞伎始1603=45歳: 家康が大坂城に送り込んだスパイの説もあるように、

家康駿府退隠1607=49歳:

村上天教禁止・1612=54歳:

大坂冬の陣・1614=56歳: \*\_大坂冬の陣となって、豊臣方の総大将役に浮上するや、開戦直前に徳川方へ転身、坂城内での情報を流す間者としての働きが評価され、

大坂夏の陣・1615=57歳: \_豊臣氏滅亡後、大和国宇陀郡松山、上野国甘楽郡など5万石を与えられて、大名に復帰し、京都に居住、

徳川家康没・1616=58歳: \_上野国甘楽郡の領地に、風雅な庭園(楽山園)を造り、養蚕など産業育成にも力を注ぐと、

吉原遊郭始・1617=59歳: 四男信良に上野小幡藩2万石を分知して、\*隠居、以後、茶や鷹狩りなど悠々自適の日々を送って、

利根川付替始1621=63歳:

・ ・ ・ ・ ・ 1628=70歳: 将軍徳川家光から、江戸城での茶会に招待される。

寛永禁書令・1630=72歳: 京都北野邸で、\_没した。

武将というよりも、茶の湯・和歌・舞・音楽などに巧みな風流人として知られる。